

女優 芋生悠さん

Profile いもう・はるか
 映画や舞台を中心に活動をする女優。大津高校美術コースで油絵を専攻。NHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺」金栗四三の姉・エツ役で出演。2019年春公開映画「恋するふたり」(稲葉雄介監督)ヒロイン・吉澤幸子役で出演。

幼いころから10年間空手を続けていた芋生さん。実力もあり、大会などにふと気付くと夕暮れ時になっていて、駅から見える美しい夕焼けは今も私の心の中に残っています」と芋生さんは当時を懐かしむ。

自暴自棄になってしまっているときに描いた自画像が賞をとったのだ。「自分も家族も驚きました。今まで授業以外では絵も描いたことありませんでしたから」



大津高校の職員室前に飾られた自画像は芋生さん作で題名は「私。」

「新成人とは言っても完全な大人ではなく、多感で心揺れ動く時期だと思っています。私もそうです。持論ですが、負の感情を跳ね返そうとする気持ちが一番パワーが出る気がします。悩みを力に変えて、本物を伝えられる仕事を私は見つけました。だから、皆さんにも信じられる道を見つけてほしいです」悩んだ暗い時間を包み隠さずに伝える芋生さん。

悩みを乗り越え、本物を知り、伝える表現者はこれからたくさん人の心に光を灯すだろう。

「自己表現でできる幸せ」

映画を中心に活動し、大河ドラマへの出演や自身がヒロインを演じる映画の公開も控えこれから注目される「女優」芋生さんの素顔を覗く。

これをきっかけに美術コースのある県立大津高校への進学を決め、情熱を絵にぶつけ始める。

今は、その道に向かって真っ直ぐ努力を続けているところだ。

「女優としてみんなに愛されるようになりたい。これからたくさんの方に会って役柄の人生を吸収し、多くの人生を経験し、厚みのある人間になりたいと思っています」と決意。

思い出す大津町の景色

「大津高校に通っていたので大津町は青春を過ごした大切な場所。特にJR肥後大津駅は私にとっての思い出の場所です。学校から駅までの通学路にある掘り出しハウスで芋天をよく買っていました。それを頬張りながら駅を利用する同級生たちと駅の待合室でいろいろな話をするのがとても楽しかったです。あつという間に時間がたち、ふと気付くと夕暮れ時になっていて、駅から見える美しい夕焼けは今も私の心の中に残っています」と芋生さんは当時を懐かしむ。

「思春期特有のものだと思えますが何をやるにもやる気がなくなってしまう、あの時期を思い出すと恥ずかしいですね」

「新成人とは言っても完全な大人ではなく、多感で心揺れ動く時期だと思っています。私もそうです。持論ですが、負の感情を跳ね返そうとする気持ちが一番パワーが出る気がします。悩みを力に変えて、本物を伝えられる仕事を私は見つけました。だから、皆さんにも信じられる道を見つけてほしいです」悩んだ暗い時間を包み隠さずに伝える芋生さん。

悩みを乗り越え、本物を知り、伝える表現者はこれからたくさん人の心に光を灯すだろう。

バレーボール選手 古賀紗理那さん

Profile こが・さりな
 NECレッドロケッツに所属するバレーボール選手。母親の影響でバレーを始め、高身長と跳躍力を生かしたプレーが魅力。今後のバレー界を牽引する、活躍が楽しみな選手の一人。

「私を作った原点」

日本バレーボール界の第一線で活躍する古賀選手。他を圧倒する実力の秘密に迫る。

バレーボールと出会った場所

「大津町の思い出と言えば、バレーボールに出会った場所で私の原点。この一言に尽きます。でも、バレーを始めた頃は自分がバレーボールの選手になっっているなんて想像できなかったです。『母のママさんバレー』について聞いて傍らでボール遊びをするのが楽しかった」という古賀さん。

大津ジュニアバレーに入って、小学校はトレーニングの日々。同時に強豪校から声がかかり、大会などでも、

「成人するとすべて自分の責任に変わってしまうので、そこから得られることも多いので頑張っていました。私のように高校卒業してすぐにプロのバレーボール選手になった人は成人式に出られなかったのです、式に参加できなかった人は少しだけうらやましいです。歳が近いので難しいことはいえませんが、私が普段から気をつけていることを伝えたいです。『だからだらし

「今も熊本地震からの復興に懸命に頑張っている人たちのためにも私がバレーボールで頑張る姿を届けて少しでも元気を届けたい」と古賀さん



「今も熊本地震からの復興に懸命に頑張っている人たちのためにも私がバレーボールで頑張る姿を届けて少しでも元気を届けたい」と古賀さん



新成人の皆さんへ

「新成人とは言っても完全な大人ではなく、多感で心揺れ動く時期だと思っています。私もそうです。持論ですが、負の感情を跳ね返そうとする気持ちが一番パワーが出る気がします。悩みを力に変えて、本物を伝えられる仕事を私は見つけました。だから、皆さんにも信じられる道を見つけてほしいです」悩んだ暗い時間を包み隠さずに伝える芋生さん。